



愛知県 三栄鶏卵株式会社

『小さなたまごで大きな世界に挑戦』

【主な品目】

鶏卵

【主な輸出先国・地域】

シンガポール

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成24年にシンガポール政府より生産農場認証を取得し、「まんげつ濃厚卵」を輸出開始。
- ◆ 令和3～5年度に「畜産物輸出コンソーシアムの設立・運営支援事業」を活用し、シンガポール伊勢丹・ローカルスーパーFair Priceにてプロモーション実施、Food Japan 2023へ出展。
- ◆ 令和4年度「畜産物の流通・品質保持等に係る試験・実証等支援事業」を活用し、新たな輸送経路を開拓。

【輸出実績】（非公表）

【取り組む際に生じた課題】

- ・シンガポールへの輸出には、農場認定と供給安定化のためにサルモネラ菌対策と生産規模の拡大を行える施設整備が必要。
- ・海外の販売先が限定されているため、販路先の拡大が必要。販路開拓には大きな費用と時間が必要。

【生じた課題への対応】

- ・冷房装置、換気装置を設置した縦型換気方式セミウインドレス舎に改修し、シンガポール政府の認定を取得。
- ・「生でも食べられる」ほど安全・安心という「日本産たまご」の特徴をアピールするとともに、現地の食べ方に沿った、できるだけ生に近い食べ方（半熟卵など）を提案。
- ・「畜産物輸出コンソーシアムの設立・運営支援事業」を活用し、新規開拓のためのプロモーション活動を積極的に実施。また、新規飲食店の需要拡大に向けて、Food Japan 2023に出展。
- ・「畜産物の流通・品質保持等に係る試験・実証等支援事業」を活用し、物流の安定性、各所での手続き等を検証。

【取組の効果】

- ・安定した輸出用鶏卵の供給が可能。
- ・Fair Priceとの取引を開始。商品が認められ、取り扱い店舗が拡大。
- ・急に輸送できない場合等に備えて、2つ目の輸送ルートを開拓。
- ・日本産卵は安全という認識が広がり、輸出の拡大に寄与。

【今後の展望】

- ・シンガポール以外の輸出先国への販路の開拓。



Food Japan 2023出展の様子



シンガポール伊勢丹でのコラボレーションキャンペーンの様子